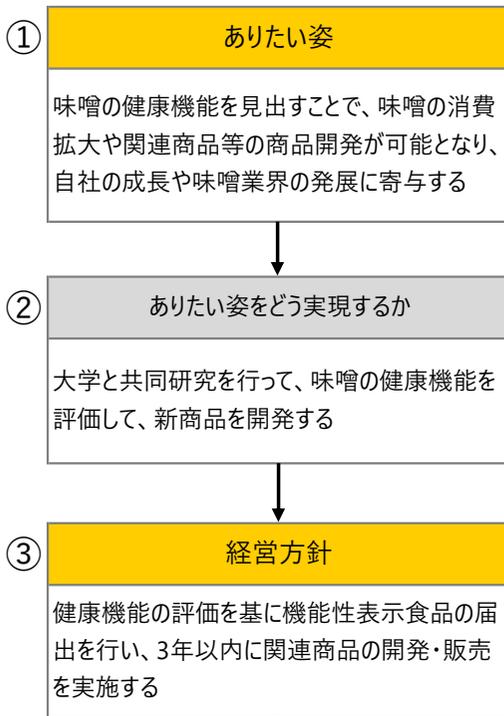
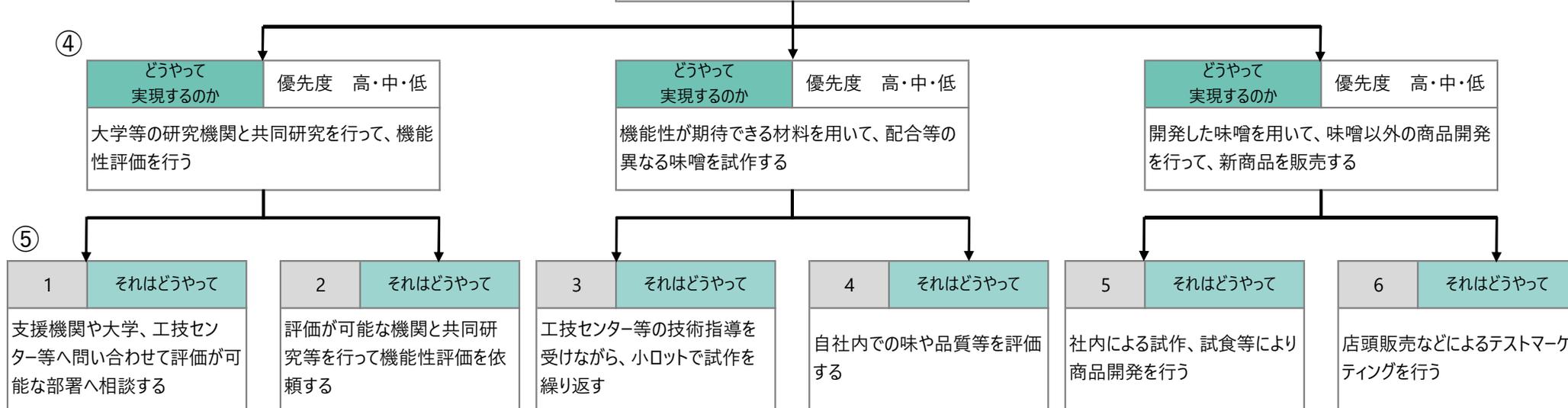


無形資産可視化ツール1 将来ビジョン実現ツリー（全社/ 魅力ある食品開発支援事業）

移行戦略/ストーリー
<p>これまで</p> <p>主に九州地方で消費される味噌の製造販売を行っている。近年では、味噌の消費量は減少傾向にあり、ここ20年で半減している。</p>
<p>これから</p> <p>味噌の機能性(できれば機能性表示食品の届出)を見出し、新商品の開発を行うことで、これまで、味噌に関心のなかった世代や健康に気をを使う世代に興味をもってもらえる新商品開発を行うことで、売上げ増を図る。</p>



市場適合性・市場分析
<p><u>誰にどの程度求められているか</u></p> <p>味噌の消費傾向の要因の1つに減塩志向が挙げられることから、減塩味噌についてのニーズはある。</p>
<p><u>ビジネスとしての成立可否、ビジネス上のリスク等について</u></p> <p>健康への意識は高まる中で、発酵食品への期待は大きく、ヨーグルトなどの市場規模は拡大している。味噌の健康機能に関する知見が得られると新たなチャンスとなる。リスクとして、機能性表示食品の届け出ができるような機能性が見出せない場合もある。</p>



③ ④ ⑤ : ツール3へ転記
 ①~⑥ : ⑤における優先順位

無形資産可視化ツール2 業務フロー・商流表（魅力ある食品開発支援事業）

☑	これまでの価値創造プロセス	主に九州地方で消費される味噌の製造販売を行っている。一般消費者向けのB to C商品と、業務用のB to B商品を製造しており、消費者の嗜好に合わせた商品（無添加味噌、減塩味噌など）づくりを行ってきた。
☑	これからの価値創造プロセス	味噌の消費が減少傾向である中で、発酵食品が注目されていることから、健康機能のある味噌や味噌を使った食品等を開発する。

		研究の可能性調査	研究計画・補助金	研究実施	新商品開発・テストマーケティング	商品の販売
ヒト	社内キーパーソン	常務	製造課、品質管理課	製造課	製造課、営業課	営業課
	社外キーパーソン	●●大学 ○○教授 工技センター △△研究員	工技センター △△研究員	●●大学 ○○教授		
モノ			小ロットの試作品を製造するための恒温装置	評価キット、実験動物など		
カネ			試作研究のための補助金	共同研究	機能性表示食品申請のための補助金	
			← 魅力ある食品開発支援事業 →			
情報	知的財産権 (特許・商標・意匠など)			機能性表示食品		
	その他の無形資産	機能性評価に関する人脈等	配合や製造条件ノウハウ等		マーケティング手法などの新商品開発ノウハウ等	市場ニーズ、新商品の課題など
無形資産の 獲得・強化に向けた打ち手 KPI管理表へ転記		大学、工技センター、支援機関への相談、共同研究等の可能性調査	研究の実施体制の検討	試作研究、評価等の実施	テストマーケティング 新商品開発	試験販売等

凡例	現在保有する無形資産	：黒字で記載
	上記のうち重要な無形資産	：太字にて表示
	将来必要な無形資産	：赤字での記載

無形資産可視化ツール3 KPI管理表（魅力ある食品開発支援事業）

経営方針 将来ビジョン実現ツリー③を転記	打ち手 (大分類) 将来ビジョン実現ツリー④を転記	目標設定		打ち手 (中分類) 将来ビジョン実現ツリー⑤を転記	打ち手 (小分類) 業務フロー・商流表の「打ち手」を転記	目標設定		
		KPI (目標値)	現在値			KPI (目標値)	現在値	
経営方針 健康機能の評価を基に機能性表示食品の届出を行い、3年以内に関連商品の開発・販売を実施する	大学等の研究機関と共同研究を行って、機能性評価を行う	・研究実施体制の構築 ・大学等との共同研究の実施	・専門の研究者に相談中	支援機関や大学、工技センター等へ問い合わせ評価が可能な部署へ相談する	大学、工技センター、支援機関への相談	-	・支援機関へのメール相談	
				評価が可能な機関と共同研究等を行って機能性評価を依頼する	研究の実施体制の検討補助金等の調査	・共同研究の実施 1 件	-	
	機能性が期待できる材料を用いて、配合等の異なる味噌を試作する	・工技センターの技術指導を受けながら、小ロットで試作を繰り返す。	・新しい味噌開発のアイデア検討中	工技センター等の技術指導を受けながら、小ロットで試作を繰り返す	試作研究の実施	・試作の実施回数5回	・工技センターへ相談中	
				自社内での味や品質等を評価する	評価の実施	・評価の実施回数5回	・通常の製品では定期的に検査を実施	
	開発した味噌を用いて、味噌以外の商品開発を行って、新商品を販売する			-	社内による試作、試食等により商品開発を行う	新商品開発	・新商品の発案件数10件	-
					店頭販売などによるテストマーケティングを行う	テストマーケティングの実施	・店頭販売回数5回	-

黄色の箇所のみをご記入ください。

